

南海本線 連立工事についての説明会報告書 付記

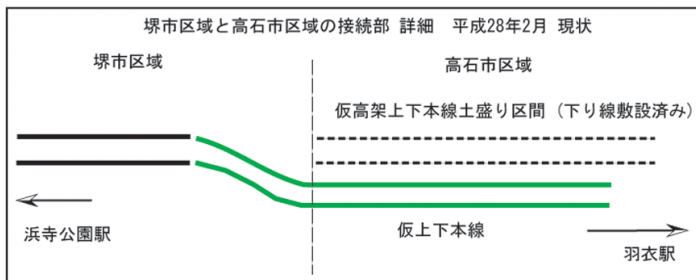
【堺市区域と高石市区域の接続要領説明書】

【高石市区域の高架下り本線の切り替え】

高石市区域と堺市区域が接する境界付近では、それぞれの区域の高架工事と両区域の高架橋の接続工事が行われます。

現在の高石市区域では、高架下り線が施工済みです。高架駅も下り線は工事が完了しています。堺市区域との境界部分は羽衣駅から北に100メートルほどの区間の高架橋が施工されて、そこから浜寺公園駅に向かって、土盛りの路面が整備されて下り線は境界付近まで施工されています。

高石市域の現状路線図



この両区域の境界にある土盛り区間の様子を写真で紹介します。

写真1：－

鳳街道から南に向かって遠望した線路が写っています。左側に羽衣駅に向かう土盛りの上り坂が施工されています。ここは二車線分の坂路ですが、左側の下り線には線路が敷設されています。

右側は、坂の最後の部分が現在の仮下り線と干渉するので土盛りも未完成です。浜寺公園駅からの堺市区域の線路から右に曲がって仮線につながっている様子がわかります。



写真2：－

写真1で遠望した土盛り部分を近くで見ると、この写真のように、最後の部分を残して線路も、架線も施工済みになっています。3月いっぱいかけて、電気系統や信号設備などの最後の点検をして、4月には線路

の切り替えが行われる予定です。



写真3：－

土盛り部分から先の、羽衣駅までの高架橋は、既に完成しています。この写真で見ると、北の端部は上り線の土盛りが未完成であることが判ります。遙か彼方に羽衣高架駅の屋根が見えています。



写真4：－

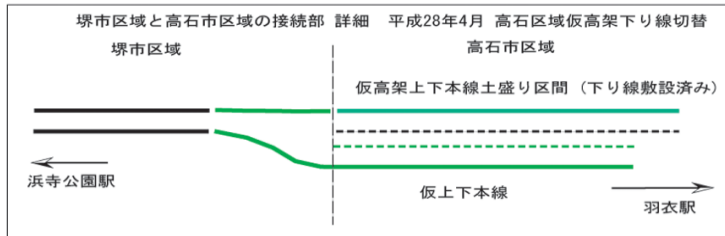
羽衣駅側から見た高架橋の写真です。駅から北に高架橋が施工されて、この部分で土盛り部につながっています。土盛り部は鋼板製の枠の中に



土を入れたもので、後で取り払われます。高架橋の端部には鉄筋がむき出しになっていますが、これは、この部分から仮線を下ろす計画になっているので、下を通過して居る現在の仮線が使われなくなると、その仮の坂路がここで西側に分岐します。

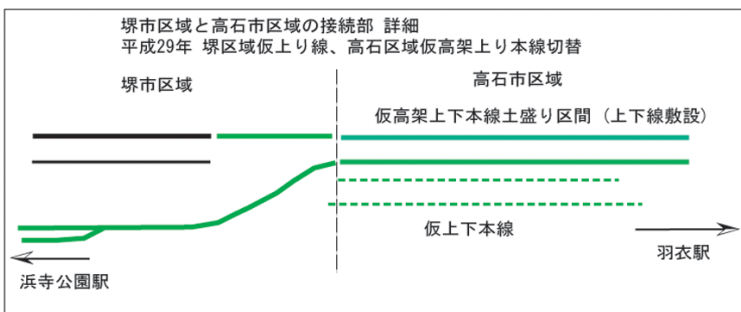
この仮の高架本線は4月になると堺市区域の下り本線に接続されて、列車の運行は仮下り本線から高架仮下り本線に切り替えられます。また、これに続いて仮下り本線が撤去されます。

高石市域高架仮下り本線切り替えの図



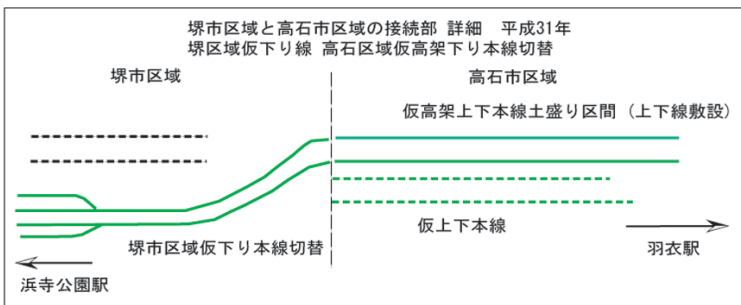
【高石区域の高架上り線の切り替え】

高石市区域の羽衣北部では、仮下り線を撤去した後に、上り高架本線の土盛りを完成させて路線を準備します。高石区域全域の高架上り本線が完成すると、堺市区域の接する北端部では、下り線と同様に、土盛りの傾斜面を降りる路線を施工して、地上の堺市区域の仮上り線に接続します。



【堺市区域の下り仮線の完成と高石区域の仮高架本線への接続】

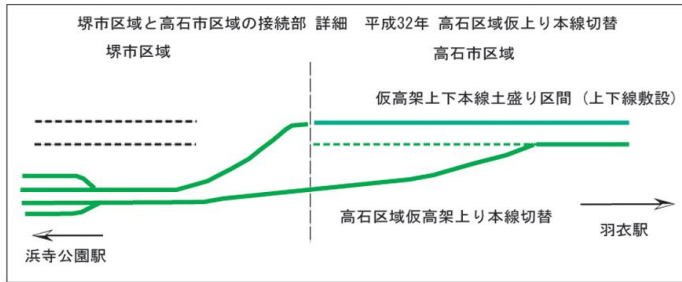
堺市区域の仮下り本線が完成する時期に合わせて、高石市区域の仮高架下り本線への切り替えが行われます。この時点で、堺市区内は上下線ともに仮本線での運行になり、高石市区域では上下線が高架本線での運行になります。



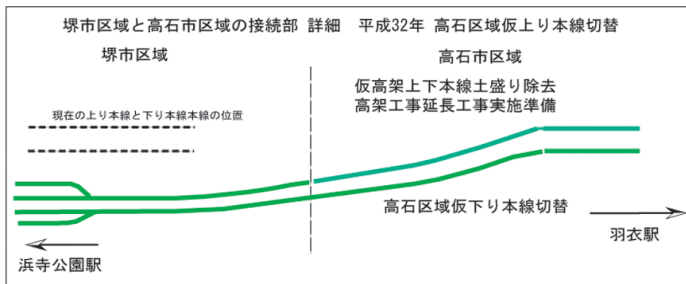
【高石区域の接続部仮線の施工】

堺市区域が仮線を運行するようになると、高石市区域では、羽衣駅付近北側の高架橋部から地上に降りる仮線を施工します。まず、上り線を仮線に切り替えます。続いて下り線を仮線に切り替えます。これらの仮線も土盛りにより高架路線から地上路線に降りる坂道を施工して完成させます。

上り本線切り替え後の状態：一



下り本線切り替え後の状態

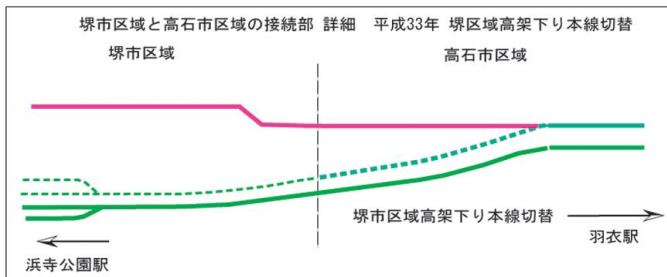


このように、一旦高架本線に切り替えてから、再び別の仮線を施工して上下線を地上に降ろす手順になっています。二度手間ですが、この手順を踏まないと上下線の営業運転を継続しながらの高石市区域の高架本線への切替と、堺市内区域の高架本線との接続を実現することが出来ません。

その後、東側にあった最初の土盛りを撤去し、その跡に羽衣駅から北の高架橋を延長します。

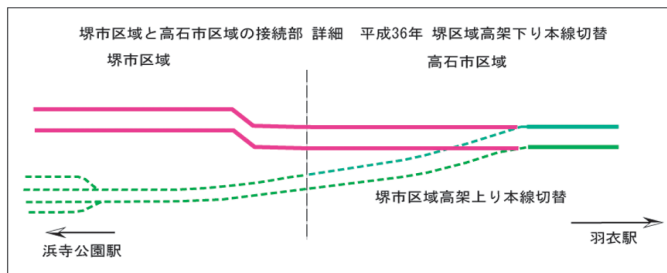
【高石区域の高架下り線の接続】

堺市区域の高架下り本線が完成すると、高石市区域の高架下り本線と接続して路線を切り替えます。



【高石区域の高架上り線の接続】

堺市区域の高架上り線が完成すると、高石区域の高架上り線と接続して路線を切り替えます。



このようにして、堺市区域の工事の進行に合わせて、高石市区域の接続部の工事を施工し、全区域の高架工事を完成させます。